

アフリカの 柔道発展と原点

ザンジバル柔道サイト <http://zanzijudo.exblog.jp/>



ザンジバル柔道連盟会長
全柔連国際委員会特別委員 島岡 強

私が、ザンジバルで柔道を教えるようになったのは、1987年に地元の青年達に頼まれたのがきっかけでした。

その当時、ザンジバルでは、反政府軍を組織するという理由で、格闘技全般が禁止されていたのを知らずに教えたので、国外退去令を出されたり、その後6年間も秘密警察の監視下に置かれるという、とんだとばっちりを受けてしまいました。

ところが1992年にザンジバルで格闘技解禁になった直後に、今度はスポーツ省から直々に、柔道のナショナルコーチになってほしいという要請を受けました。180度違う態度の変化に驚いたものですが、頼まれたものは引き受ける、引き受けたからには、その時々状況下において、ベストを尽くしたい。柔道衣も畳もないゼロからの出発で、船の帆用の布で柔道衣を縫い、地面に麻袋を縫い合わせたカーペットを敷いた青空道場での練習が始まりました。

その1年後に畳や柔道衣を日本から調達し、10年間青空道場で練習を続け、その後、念願の屋根つき道場であるザンジバル武道館を建てたのが2002年。その頃からやっと柔道が認められるようになり、タンザニア代表として、初めて国際大会(コモンウェルス競技大会)にも出場するようになりました(タンザニアは、タンガニーカ本土とザンジバルとで連合共和国として成り立っています)。

タンザニアスポーツ史上において、柔道という種目が、タンザニアナショナルチームの中に選ばれ、正式に国際大会に参加したのは初めてのことでした。



2003年には、念願の世界選手権大会(大阪)に2名の選手を連れていきましたが、2人とも1、2分で玉砕。世界のレベルを肌で感じ、いつかは我々もここで対等に勝負できる実力をつけたいとの思いを新たにして、ザンジバルに帰りました。

近隣国で柔道の大会を開く国がなかったため、モーリシャス、南アフリカ、マダガスカルなどへの遠征などを無理に組んでいましたが、2007年になって初めて、東アフリカ諸国が集まって柔道大会が開催されるようになり、第1回大会はケニアで、第2回大会ブルンディに続き、第3回大会である今年2009年3月には、ザンジバルが開催国となり、ザンジバル柔道連盟で大会を主催しました。

2008年ブルンディでの第2回東アフリカ大会で、男子8階級のうち金5個、銀1個、銅2個で優勝したのに続き、2009年は地元開催国として8階級のうち金6個、銀1個、銅4個という成績で2年連続し優勝国となり、大統領官邸で国旗返還とメダル授与式をするというところまで柔道が認められるようになりました。



そういった国際大会への視野を広げる一方、今年7月には、ザンジバルの最北端に位置するヌングイという小さな漁村に、新しい道場を開きました。

これは、今年初めから、ザンジバルで柔道を教え始めた初期の頃からの弟子の一人が、自分の関わる漁師村ヌングイにも柔道を広めたいということで、砂浜で自主練習を始めていました。そこに私も何度か教えに行き彼らの意欲が本物であることを確かめた上で、畳を運んで道場開きをしたという経緯があります。

道場開きは、開会式の後、ナショナルチームメンバーによる形の披露。その後続くエキシビジョンマッチは、ナショナルチーム対ヌングイ2チームの団体戦。緊張の面持ちで初試合に挑むヌングイの選手たち。もちろんナショナルチームの面々を相手にかなうはずもなく、ヌングイチームは全敗。

その後、ナショナルチーム最年少のアブドゥルサマッドが、ヌングイチームを相手に5人抜きをし、こちらほとんど秒殺でしとめられてしまいましたが、選手たちだけでなく、初めて柔道の試合を観るヌングイ村の人達も大興奮でした。

柔道衣も畳もないゼロからの出発から16年目にして、弟子たちが自発的に立ち上げたヌングイ村での新道場は、貧しく過疎化が進む村の青年達に新しい目標と活力を与えるという面でも大いに期待されています。

町の道場まで通えない遠い地方の村にも道場を開くというのは、ザンジバル柔道連盟の目標の1つでしたが、やっとそれが実現し、これで、ザンジバル内の道場は、4か所になりました。一人ひとりが上を目指していくことと同時に、柔道の裾野を広げていくことの両面から、青少年の健やかなる身体育成と、自他共栄、精力善用、力必達を始めとする柔道の精神を伝え、心身両面からの向上を目指して指導を続けていく所存です。



Otsuka

PLAY TRIDE (財)日本アンチ・ドーピング機構認定商品

JADA Japan Anti Doping Agency 大塚製薬は、(財)日本アンチ・ドーピング機構の公式スポンサーです。

E NTERTAINMENT
C ONVENTION
P ROMOTION
S PORTS

knt!
 近畿日本ツーリスト
 東京イベント・コンベンション支店
<http://www.knt.co.jp/tyoec/>